



群馬県立富岡高等学校全日広報紙

# 富高通信

4月号 R02.48発行

群馬県立富岡高等学校

群馬県富岡市七日市 1425-1

TEL 0274-63-0053

FAX 0274-62-2745

## 「統合三年目にあたって」

校長 富田 忍

今年度は開校して三年目、一学年から三学年まで新しい富岡高校への入学生が揃い、完成年度を迎えることとなりました。しかし、新型コロナウイルスへの感染症防止対策から、授業が再開できない緊急事態となっております。新2年生、新3年生は3月から臨時休校が続いており二ヶ月目に入り、家庭学習が定着する一方で、学習への心配が増大しています。また、新入生は高校での学習がスタートする大切な時期となります。

この状況を踏まえて、4月の家庭学習では各教科が授業を進める課題プリントを作成し週毎に提出を求める、効果的な学習を行いたいと考えています。課題の量が多くなりますが、登校日にはしっかりと提出できますよう、富岡高校の生徒としての自覚を持って取り組んで欲しいと考えています。

生徒の皆さんは、将来への目標を明確にして、その達成に向けて努力しながら、この難局を乗り切ってください。完成年度の今年、本校の歴史を創っていく高い意識を持って教育活動に邁進してください。保護者の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、教職員一同、効果的な教育活動を実践していきたいと思えます。

生徒の人間力を高める学校、地域に根ざした愛される学校、時代を見据えて社会に貢献できる学校を、協力し合って創っていきましょう。

---

## 令和元年度末人事異動における富高転退職者から富高生へのメッセージ

「便利さって何？」

教頭 悴田 利行 (榛名高校 校長)

ドラえものの道具で一番便利なのは、個人的には、どこでもドアだと思う。好きなときに、どこへでも行ける。でも、世界中の人がそれを使ったら、プライベートなんて無いのと同然である。スマホも同様に、便利ではあるが、煩わしい。自分が使っているはずが、いつの間にかこちらが使われている。便利さって何だろう。思いっきりアナログな生活が実は幸せだったりする。みなさん、人間らしい生活を送りましょう。

「お世話になりました」

事務長 高田 博子 (高崎女子高校へ転出)

4年間お世話になりました。伝統ある2つの学校の統合に携わってきました。生徒の皆さんとワークショップを開催し、「つながりが生まれる学校づくり」をテーマに特別教室棟を増築いたしました。外廊下は東高校のイメージから、また黒門をイメージした教室の色合い、身だしなみが整えられるよう大きな鏡と、たくさんの職人さんが心を込めて作ってくれました。どうぞ大切に使用してください。校歌に歌われている3つの「こころばえ」をときに思いだし、充実した高校生活を謳歌してください。皆さんの活躍をお祈りしています。

「人品雅致」

数学科 稲塚 俊人（松井田高校へ転出）

校訓に「人品雅致」という言葉があります。私はときどき「人品雅致」って何なのって考えてしまうんですが、答えは見つかりません。おそらく、それぞれの人にそれぞれの答えがあるんだと思います。ある人はしっかり挨拶をすること、またある人は真剣に勉強に取り組むこと、別の人は部活動にしっかりと取り組むこと……。それが学校生活に向いていれば、様々で良いんだと思います。でもそれぞれに共通していることは「一所懸命」なんだと思います。それぞれが何かの「一所懸命」を持っていけば富岡高校は素晴らしい高校になります。

「真のスタートに向けて」

英語科 高橋 建次（高崎高校へ転出）

旧富高と合わせ12年間お世話になりました。なかなか経験することができない男子校と女子校の統合に関われ、そして新高校での2年間をみなさんと一緒に過ごすことができ、幸せでした。新高校3年目になる令和2年度は新富岡高校のもう一つのスタートだと思います。みなさんのさらなる活躍を期待しています。

「今を重ねる」

地歴公民科 鶴川 裕利（前橋高校へ転出）

富岡高校で素晴らしい生徒、素晴らしい先生方と過ごし、多くの貴重な経験を積むことができ、今は感謝の気持ちでいっぱいです。そして、富岡高校での1日1日が素晴らしい日常だったのだと今感じています。高校3年間は長いようで短いということを、富岡高校を離れる時に感じるかもしれません。ぜひ、“今を大事”に、“今を積み重ね”て、それぞれの目標に向かって進んでください。皆さんの活躍を、これからも応援しています。

数学科 中川 元気（高崎経済大学附属高校へ転出）

通算7年間お世話になりました。男子校時代は、お互いに気を遣うことなく、とても楽しく過ごさせていただきました。共学になっての2年間は、授業も活気があり、行事も充実していましたね。本当にあつという間でした。あと一年、皆さんと関わったら……。という思いもありますが、少し離れたところから応援しています。最後にクラスで伝えた一言をここでも書かせていただきます。「不満を語らず、希望を語ろう！」 富高ありがとう！

保健体育科 松井 翼（富岡実業高校へ転出）

今思うと本当に幸せな日々を過ごさせていただいていたんだと感じています。みんなたちと過ごす当たり前の日常がもう無いかと思うと寂しいです。それだけみんなたち富高生は魅力的であり、素晴らしい存在なのだと思います。先生もこれからのみんなたちの頑張りに負けないように新たな場所で必ず夢を達成させようと考えています！みんなたちも「常に今を全力で」身の回りの人とか環境のせいにするのではなく、頑張っていてください！お互い夢を叶えましょう！！

「富高生へ」

数学科 畔柳 裕太（高崎東高校へ転出）

1年間という短い間でしたが、お世話になりました。自己紹介をしたのが、つい先日のようです。勉強や部活動、学校行事など、本気で取り組む富高生が大好きです。何事も真剣に取り組めば、富高での3年間も、あっという間に過ぎ去ってしまいます。そんな、かけがえのない時間を大切に過ごしてください。ぜひ、夢をもち続け、それをエネルギーに頑張ってください。皆さんことを応援しています。ありがとうございました。

「自覚と覚悟を持って！」

理科 主任実習助手 浅海 渉（高崎女子高校へ転出）

**新富岡高校、大学入学共通テスト(新テスト)、新型コロナウイルス。**

勉強に気持ちが向かない理由がこれほど豊富なことはありません。でも、そんな困難にもかかわらず、希望をかなえるためには地道に頑張っていくしかありません。人のせいにせず、環境のせいにせず、言い訳に逃げ込まず、頑張れたからこそ結果につながります。皆さんの「自分で踏み出す一歩」に期待しています。

「3度目の卒業」

事務 新井 大輔（県教育委員会へ転出）

富高での5年間（旧富高3年間、新高校2年間）は、本当にあっという間でした。新しい高校を作るという、あまり例のない仕事をさせていただき大変勉強になりました。生徒のみなさんと関わることはあまりありませんでしたが、こんな人もいたなああと記憶の片隅に残していただければうれしいです。私は旧富高を卒業し、旧富高の最後を迎え、また富高から旅立ちます。また帰って来られればいいなあと思っています。